

国語部門

総評

今年はとくに海外からの作品に力作が多く、海外での国語教育の水準の高さがうかがえました。
全体としては、作文や読書感想文は題材の幅が広がり、自分の気持ちを素直にぶつけている作品が目立ちました。また、表現のうえでは視覚や嗅覚など五感に訴えかけてくるような描写のすぐれたものもあり、感心させられました。一方残念だったのは、自由研究では内容的に深く掘り下げて研究した作品が少なかつたことです。低学年の自由研究には、指導者の方のご指導にも期待したいところです。

子どもの文化・教育研究所 理事長賞

沈丁花

東京都 百合学園小学校 4年

小出 智子



「お母ちゃん、初めて五え門風ろに入ったよ。町の人達と、地引きあみにも行っちゃったよ。それとね、それとね。」

話したい事は、たくさんありました。でも本当に言いたい事は一つ、「お母ちゃんといっしょにいたい。」ということでした。

でも、がまんしました。
（かおるお姉さんだつて、がまんしているんだ。みんな、がまんしているんだ。）

と、和子は自分に言い聞かせました。

お母さんは、出されたうどんに手をつけず、

「和子、お母ちゃん、おなかいっぱいだから、お母ちゃんの分もお食べ。」

「うん。」

和子は、む中で食べました。

お母さんがおなかがいっぱいということは、うそだと和子には分かっていた。少しでも和子に食べさせてあげたいのだと思いました。なみだがほほにこぼれ落ちます。和子はわざとせきをして、

「お母ちゃん、むせちゃったよ。」

と言います。お母さんの顔をものごとと見たいの、見たらなみだが止まらなくなるような気がして、ただ、うどんを食べました。（抜粋）



菊川国民学校の慰霊碑の前で、戦争のない世界をいつかつくることを約束した智子さんです。

文部科学大臣奨励賞

父の背中



ドイツ ミュンヘン日本語補習授業校 中学2年
クル「ツグ・アルフونس

今年はいつもと違っていた。もう、僕の前に父の背中がなかった。僕が振り返ると父と母の姿は、はるか下の方に見えた。何だかとても辛そうにも見えた。だんだん近づいて来る父の肩が大きくゆれていた。太陽を背に、黒く山道に映った父と僕の肩は、その時同じように見えた。この時、何故か寂しい気持ちになった。体格や体力ではもう父と並んだのかも知れない。でも僕に色々な事を教えてくれた父の背中には、まだまだ追い越す事は出来ない。

八月の暑い日。父の友人が登山中に滑落事故で亡くなった。父の背中が小さく震えていた。

大きくゆれる父の背中の方が、やは

りいい。山登りをする父の背中は、頼もしく、温かく大好きだ。父の背中は、僕にとって特別だから……。 （抜粋）

登山の経験によつて、ますます強められた父と子のきずな。特別な存在である大好きなお父さんへの尊敬の念が強く感じられます。また、肉体では親を越えようとする少年の複雑な心理が表れています。

社団法人 日本児童文芸家協会 会長賞

さとうきび畑

東京都 千代田区立麹町小学校 6年

岡部 憲和



人は、楽しい時、歌います。大きな声で明るく、みんなに聞こえるように歌います。おこった時、さすがに歌は歌えませんが、悲しい時、歌を自然に口ずさみたりします。歌うと元気になる歌、歌うと、もつと悲しくなる歌等、色々あります。でも、悲しい時に歌う歌ほど、人の心に訴える力があるように思います。

僕は、今年の五月、沖縄へ行った時、一曲の歌に出会いました。ラジオから流れてきた寺島尚彦さんのつくった、「さとうきび畑」です。前にも、一度、「みんなの歌」で聞いたことがあり、「あつたわだ。」と、僕は思いました。ところが、歌詞が、だいぶ違っています。歌が終わると、十分たつていました。僕は、この時初めて、歌が耳からはなれなくなる体験をしました。（抜粋）

一曲の歌から受けた感動を、読者の心にストレートに投げかけています。粗削りですが、内容の組み立てがよく、読む人が引き込まれる文です。書いたものを何度も読み返し、文章力を向上させれば、さらによい作品が生まれる可能性が感じられます。

中央出版株式会社 社長賞

私の好きな万葉の歌

愛知県 愛知教育大学附属岡崎中学校 3年

磯貝 徳子



私は四年間、「万葉歌」を調べました。

万葉歌の持つ感情、その時代の歴史、歌人の人物像は勿論、手紙の書き方、電話の話し方、地図の見方、時刻表の見方、地元の人への聞き方など、大変勉強になりました。

室外で、夏の暑さの中、目的の地まで歩いた事、蚊にさされながら、歌碑の写真を写した事、室内で、読めない漢字、意味のまったく分からない単語を調べた事、文章がうまくまとまらず悩んだ事などなど今思えば懐かしく思います。

一生懸命万葉集の研究をしたことは今後の私の生活に生きてくると思います。（抜粋）



「いつきのみや歴史体験館」で十二単を試着した徳子さん。8kgの重さにびっくり!

優秀賞

「じゃあ太新くん①②」

岐阜県 柳井町立柳井小学校 2年 速水 翔太

「もう一人の私ともう二人のお母さん」

愛知県 西尾市立室堀小学校 3年 寺澤 京子

「ぼくにもわかった大切なこと」

愛知県 西尾市立室堀小学校 3年 野崎 匠

「へんしんともや」

宮城県 仙台市立百合園小学校 1年 岩瀬 由佳

「川の少年」を読んで」

大阪府 柏原市立旭ヶ丘小学校 4年 脇田 彩衣

「実験犬シロのねがい」を読んで」

大阪府 賢明学院小学校 5年 寺田 純世

「みてね、おじいちゃん」を読んで」

宮城県 仙台市立百合園小学校 1年 畠山 茜

海外在住者賞

「ぼくのクジラ」を読んで」

アメリカ合衆国 サンフランシスコ市日本語補習校小・中・高サンプセ校 4年 宮尾 剛司

